

大軍拵の一方、年金、医療の切り下げるなど国民に犠牲を強い岸田文雄首相が、外相時代を含め、「大臣規範」を無視して大規模な政治資金

集めパーティーを21回も開催し、総額4.2億円もの荒稼ぎをしていました。本紙の調べでわかりました。
(藤沢忠明)

大規模パーティー

■岸田首相の「大臣規範」を無視した大規模パーティー(2000万円以上)

開催日	収入	支出
2013年3月4日	2807万円	127万4688円
12月18日	2335万円	188万2614円
14年12月17日	2381万円	179万4854円
15年5月25日	2036万円	167万2728円
12月16日	2769万9136円	200万9813円
16年4月25日	2407万8920円	208万4582円
8月31日	2183万8920円	131万926円
12月21日	3035万9136円	225万2768円
17年4月25日	2595万9136円	226万1026円
21年10月4日	2768万円	291万9874円
12月22日	3862万円	314万9049円

《注》政治資金収支報告書で作成

岸田文雄首相は、立憲民主党議員から「規範に抵触するのではないか」と批判されました。3月27日の参院本会議では、立憲民主党議員から「規範に抵触するのではないか」と批判されました。これが、首相は「既に定められた基準はなく、各大臣等が國民の疑惑を招かないよう良識の範囲で適切に対応すべきもの」「おたずねの

「大臣規範」というのを守る政治資金集めパーティーについて、「国民の疑惑」が決議されたもので、大臣、副大臣、政務官が開催を招きかねないような規模なものの開催は自粛する」とあります。

「大臣規範」無視
パーティーは規範に抵触するものではない」と完全に開き直ったのです。

本紙は、安倍政権の外相時代(12年12月~17年8月)と21年10月の首相就任後元広島で後援会の「新春例会」を1000人規模で開催、5月広島で開くOGサミットの口火の入ったまんじゅうやペンをお土産として配り、「政治利用だ」と問題になりました。

3月27日の参院本会議では、立憲民主党議員から「規範に抵触するのではないか」と批判されました。これが、首相は「既に定められた基準はなく、各大臣等が國民の疑惑を招かないよう良識の範囲で適切に対応すべきもの」「おたずねの

時代(12年12月~17年8月)と21年10月の首相就任後元広島で後援会の「新春例会」を1000人規模で開催、5月広島で開くOGサミットの口火の入ったまんじゅうやペンをお土産として配り、「政治利用だ」と問題になりました。

これによると、「国政を語る会」「新政経塾」「新年例会」などの名目で40回近いパーティーを開催していますが、収入額が100万円を超す「大規模パーティー」は21回(うち20回)です。二トリホールディングスの似鳥昭雄会長は首相とガルフをしたり、会食をする間柄。省庁に対して絶大な権限を持っている首相が特定の企業や団体と癒着するの、「良識の範囲」とはいえないでしょう。

岸田氏21回4.2億円「大臣規範」無視